

第72回日本公衆衛生学会総会（三重県・津市）のまとめ

1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長	鈴木 英敬	三重県知事
名誉顧問	前葉 泰幸	津市長
学会長	笹島 茂	三重大学大学院医学系 研究科公衆衛生・産業 医学分野教授
副学会長	青木 重孝	公益社団法人三重県医 師会長
	北岡 寛之	三重県健康福祉部長
	石川 博之	津市健康福祉部長
顧問	内田 淳正	三重大学長
監事	坂三 雅人	三重県健康福祉部健康 福祉総務課長
	堀内 咲子	津市健康福祉部健康医 療担当参事

2 開催日

平成25年10月23日（水）～25日（金）

3 開催地

三重県津市

4 会場

三重県総合文化会館（〒514-0061 三重県津市一
身田上津部田1234）

アストプラザ津（〒514-0009 三重県津市羽所町
700番地）

他，周辺施設

5 参加者数

有料入場者数 3,530人
（うち事前登録者2,283人）

No.	都道府県	合計	%
1	北海道	73	2.07%
2	青森県	29	0.82%
3	岩手県	33	0.93%
4	宮城県	75	2.12%
5	秋田県	37	1.05%
6	山形県	18	0.51%
7	福島県	37	1.05%
8	茨城県	98	2.78%
9	栃木県	53	1.50%
10	群馬県	48	1.36%
11	埼玉県	146	4.14%
12	千葉県	113	3.20%
13	東京都	580	16.43%
14	神奈川県	157	4.45%
15	新潟県	40	1.13%
16	富山県	53	1.50%
17	石川県	27	0.76%
18	福井県	4	0.11%
19	山梨県	38	1.08%
20	長野県	52	1.47%
21	岐阜県	44	1.25%
22	静岡県	42	1.19%
23	愛知県	233	6.60%
24	三重県	251	7.11%
25	滋賀県	51	1.44%
26	京都府	110	3.12%
27	大阪府	265	7.51%
28	兵庫県	103	2.92%
29	奈良県	70	1.98%
30	和歌山県	24	0.68%
31	鳥取県	19	0.54%
32	島根県	38	1.08%
33	岡山県	70	1.98%
34	広島県	63	1.78%
35	山口県	38	1.08%
36	徳島県	9	0.25%
37	香川県	26	0.74%
38	愛媛県	31	0.88%
39	高知県	13	0.37%
40	福岡県	100	2.83%
41	佐賀県	10	0.28%
42	長崎県	46	1.30%
43	熊本県	58	1.64%
44	大分県	22	0.62%
45	宮崎県	13	0.37%
46	鹿児島県	25	0.71%
47	沖縄県	25	0.71%
48	国外	12	0.34%
49	不明	8	0.23%
合計		3,530	100%

6 総会・特別行事等

〈第1日目 2013年10月23日(水)〉

学会長講演

10:10~10:55 第1会場 (三重県総合文化センター大ホール)

変革期我が国の公衆衛生の現状と課題

—隣接諸科学との対話

座長: 武藤 孝司 (獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)

演者: 笠島 茂 (三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野)

基調講演

11:00~11:50 第1会場

健康の社会的決定要因: 政策への応用

座長: 笠島 茂 (三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野)

演者: Ichiro Kawachi (Harvard School of Public Health)

総会

13:00~13:50 第1会場

教育講演1

14:00~14:50 第1会場

医療ビッグデータ時代のプライバシー・個人情報保護法制のあり方

座長: 浜島 信之 (名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学)

演者: 鈴木 正朝 (新潟大学法学部)

メインシンポジウム1

15:00~17:30 第1会場

災害時や危機管理におけるビッグデータの形成とその活用

座長: 佐藤 俊哉 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療統計学)

今井 寛 (三重大学医学部附属病院(救命救急センター))

演者: 不確実な情報下における予測戦略

樋口 知之 (情報・システム研究機構/統計数理研究所)

データの有効な視覚化と統計解析

高橋 邦彦 (名古屋大学大学院医学系研究科臨床医薬学講座生物統計学分野)

東日本大震災における流れの記録—その時

人はどう動き、ものはどう運ばれたか—

桑原 雅夫 (東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻空間計画科学分野)

継続的な情報発信の重要性 浜通り・相双地区での内部被ばく検査の現状から

坪倉 正治 (東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門)

特別講演2・鼎談

17:40~19:30 第1会場

行政情報のプールとデータリンケージ

座長: 實成 文彦 (山陽学園大学・山陽学園短期大学)

演者: 統計の調査票情報とデータインテグレーションによる情報の拡張

森 博美 (法政大学経済学部)

レコードリンケージと公衆衛生

鏡森 定信 (富山県立イタイイタイ病資料館)

特別講演1

14:00~14:50 第2会場 (三重県総合文化センター 中ホール)

多能性幹細胞・間葉系細胞技術の開発と将来—公衆衛生領域における再生医療との関わりについて考える

座長: 秋葉 澄伯 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

緒方 正人 (三重大学大学院医学系研究科)

演者: 高橋 恒夫 (京都大学再生医科学研究科幹細胞研究部門胚性幹細胞研究分野)

シンポジウム1

15:00~16:50 第2会場

保健所の過去・現在・未来

座長: 篠崎 英夫 (日本公衆衛生協会)

演者: 保健所—過去・現在・未来 (過去編) 敗戦後の混乱からの再生

北川 定謙 (日本公衆衛生協会)

保健所の現状—多様な保健所と連携による機能的標準化を目指して—

佐々木隆一郎 (長野県飯田保健所)

保健所の将来—智と経験は未来を拓く—

渡邊 能行 (京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学)

韓国の保健所の過去・現在・未来
 妻 祥秀 (ペ・サンス) (韓林大学校)

座長：本橋 豊 (秋田大学)
 演者：熊坂 義裕 (盛岡大学/社会的包摂サポートセンター)

日本学術会議パブリックヘルス分科会・生活習慣病
 対策分科会・健康・スポーツ科学分科会・日本公衆
 衛生学会合同シンポジウム

17:40~20:00 第2会場

特定健診・特定保健指導の新たな局面とその推進

座長：磯 博康 (大阪大学大学院医学系研究科
 社会環境医学講座公衆衛生学)

武藤 孝司 (獨協医科大学医学部公衆衛生
 学講座)

演者：高血圧は高コレステロール食による非アル
 コール性脂肪性肝炎進展のリスクとなるか
 那須 民江 (中部大学生命健康科学部)
 標準的な健診・保健指導プログラムの改訂
 について

野田 博之 (厚生労働省健康局がん対策・
 健康増進課)

特定健診・保健指導～第1期実施計画の評
 価と今後の課題

野口 緑 (尼崎市市民協働局ヘルスアッ
 プ戦略担当)

特定健診・特定保健指導の効果と行動変容
 を促す支援

奥山 恵 (東松山医師会病院健診セン
 ター)

大阪がん循環器病予防センターによる市町
 村支援の取り組み

北村 明彦 (大阪がん循環器病予防セン
 ター循環器病予防部門)

ランチオンセミナー1

12:00~12:50 第3会場 (三重県総合文化セン
 ターレセプション
 ルーム)

日本におけるワクチン、これからの課題～ロタウイ
 ルスとB型肝炎を中心に～

座長：尾崎 隆男 (江南厚生病院こども医療セン
 ター)

演者：黒木 春郎 (医療法人嗣業の会外房こども
 クリニック/千葉大学医学部)

共催：MSD 株式会社

教育講演2

14:00~14:50 第3会場

よりそいホットラインに寄せられた声が訴えるもの
 —24年度1千万件のアクセスの分析から—

シンポジウム2

15:00~17:30 第3会場

社会的困窮者への公衆衛生からのアプローチ—現状
 と課題—

座長：小林 章雄 (愛知医科大学医学部衛生学講
 座)

八谷 寛 (藤田保健衛生大学医学部公衆
 衛生学教室)

演者：ホームレス経験者が抱える社会的困難

山田壮志郎 (日本福祉大学社会福祉学部)

『生活困窮者』の支援から公衆衛生看護と
 して『社会的困窮者』の支援へ…

水谷 聖子 (愛知医科大学看護学部)

口腔から見た社会的困窮者の生活

水谷 雄樹 (NPO 法人ささしまサポート
 センター (笹島診療所) /水
 谷歯科医院)

児童虐待防止に向けた取り組み—育児支援
 につなげたいハイリスク要因について—

明石 都美 (名古屋市中保健所)

基礎的自治体からみた子どもの貧困・社会
 排除問題

二神 恭一 (公益財団法人荒川区自治総合
 研究所 (RILAC))

地域で当事者と育ちあう～「自立支援」か
 ら「生活機会の保障」への転換

日置 真世 (NPO 法人地域生活支援ネッ
 トワークサロン)

シンポジウム4

17:40~20:10 第3会場

放射線と健康教育・地域づくり～今あらためて見直
 される公衆衛生の課題～

座長：小橋 元 (放射線医学総合研究所)

演者：いわゆる低線量被ばく地域における放射線
 対策

阿部 孝一 (郡山市保健所)

放射線被曝への対応—遺伝カウンセリング
 の立場から

千代 豪昭 (もと南相馬市立総合病院放射
 線健康カウンセリング外来室
 長/兵庫医科大学遺伝子学講
 座)

福島第一原発事故後の千葉県柏市における

対策
 染谷 誠一(千葉県柏市役所放射線対策室)
 原子力災害下における福島県民の予防行動
 と県外避難の現状
 神田 秀幸(横浜市立大学医学部社会予防
 医学教室)
 放射線の健康リスクと今私達に出来ること
 小橋 元(放射線医学総合研究所)

ランチョンセミナー2

12:00~12:50 第4会場(三重県総合文化セン
 ター 多目的ホール)
 厚労省「健康づくりのための睡眠指針」を振り返る
 座長:大井田 隆(日本公衆衛生学会/日本大学
 医学部社会医学系公衆衛生
 学分野)
 演者:高橋 清久(財団法人精神・神経科学振興
 財団)
 共催:一般社団法人日本睡眠総合検診協会/パシ
 フィックメディコ株式会社

教育講演3

14:00~14:50 第4会場
 幼児期運動指針と幼児の運動発達
 座長:下光 輝一(公益財団法人健康・体力づく
 り事業団)
 演者:小林 寛道(東京大学)

シンポジウム3

15:00~17:30 第4会場
 子どもの運動発達と親子支援
 座長:小島 光洋(一般財団法人宮城県成人病予
 防協会)
 増田 和茂(公益財団法人健康・体力づく
 り事業財団)
 演者:子どもの運動発達と親子支援,健康スポー
 ツ医,学校医として
 香月きょう子(池田医院)
 最近の子どもたちの身体活動量,その特徴
 木村みさか(京都学園大学バイオ環境学部)
 運動遊びの教室に親子遊びを取り込む効果
 小関 潤子(NPO法人ひろさきレクリエー
 ション協会)
 行政の強みを活かした子どもの運動発達支
 援
 樋口 和子(糸魚川市市民部健康増進課)
 幼児期における親子での運動遊びの取り組
 みについて 発育発達と子育て支援の視点

から
 村田トオル(奈良佐保短期大学地域こども
 学科)
 指定発言:小林 寛道(東京大学)

ランチョンセミナー3

12:00~12:50 第5会場(三重県総合文化セン
 ター 大研修室)
 低蔓延化にむけた結核対策:接触者対応を中心に
 座長:長坂 裕二(三重県桑名保健所)
 演者:森 亨(公益財団法人結核予防会結核
 研究所)
 共催:日本ビーシージー製造株式会社

教育講演4

14:00~14:50 第5会場
 結核対策の将来展望
 座長:小澤 邦壽(群馬県衛生環境研究所)
 演者:森 亨(公益財団法人結核予防会結核
 研究所)

地方衛生研究所研修フォーラム

15:00~17:30 第5会場
 結核菌分子疫学の推進と結核対策への活用
 座長:長谷 篤(大阪市立環境科学研究所)
 調 恒明(山口県立環境保健センター)
 演者:反復配列多型(VNTR)分析法による結
 核菌型別—精度管理と考え方,使い方—
 和田 崇之(長崎大学熱帯医学研究所国際
 保健学分野)
 高まん延地域の結核対策における分子疫学
 的解析
 田丸 亜貴(大阪府立公衆衛生研究所感染
 症部細菌課)
 低まん延地域の結核対策における分子疫学
 的解析
 阿彦 忠之(山形県衛生研究所)
 結核対策における結核菌分子疫学の活用
 藤山 理世(神戸市中央区保健福祉部/神
 戸市保健所)
 結核菌分子疫学の将来展望—サーベイラン
 スシステムの構築に向けて—
 御手洗 聡(公益財団法人結核予防会結核
 研究所抗酸菌部)
 指定発言:野阪 哲哉(三重大学大学院医学系研
 究科感染症制御医学・分
 子遺伝学)

〈第2日目 2013年10月24日(木)〉

招待講演

9:00~9:50 第1会場(三重県総合文化センター
大ホール)

日本の医療と公衆衛生の役割

座長:内田 淳正(三重大学)

演者:坂口 力(国際医療福祉大学/元衆議院
議員/初代厚生労働大臣)

メインシンポジウム2

10:00~11:50 第1会場

医師の臨床研修制度

座長:篠崎 英夫(日本公衆衛生協会)

演者:もう一度研修制度を見直そう。

坂口 力(国際医療福祉大学/元衆議院
議員/初代厚生労働大臣)

保健所医師の確保と育成の立場から

宇田 英典(鹿児島地域振興局保健福祉環
境部伊集院保健所)

衛生学公衆衛生学教育と医師の臨床研修

本橋 豊(秋田大学)

国立保健医療科学院における地域保健研修
松谷有希雄(国立保健医療科学院)

特別講演3・鼎談

13:00~14:50 第1会場

長寿時代の医療と公衆衛生

座長:田島 和雄(三重大学医学部附属病院)

演者:長寿社会と医療

大島 伸一(独立行政法人国立長寿医療研
究センター)

生存転換の示す医療・公衆衛生の未来…2
×2表の呪いを超えてケアサイクルへ
長谷川敏彦(日本医科大学)

シンポジウム10

15:00~17:30 第1会場

原子力災害における公衆衛生の取り組み

座長:安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆
衛生学)

高鳥毛敏雄(関西大学社会安全学部)

演者:原発事故による川内村の対応「避難・帰
村・復興への足がかり」

遠藤 雄幸(福島県川内村長)

原子力災害における保健所の取り組み

笹原 賢司(福島県衛生研究所)

避難区域以外の自治体の取組み

阿部 洋子(福島県二本松市健康増進課)

放射線による健康影響の評価と対策

小笹晃太郎(放射線影響研究所・疫学部)

原子力災害後のメンタルヘルス

鈴木友理子(脚国立精神・神経医療研究セ
ンター精神保健研究所成人精
神保健研究部)

シンポジウム5

10:00~11:30 第2会場(三重県総合文化セン
ター 中ホール)

「みえライフイノベーション総合特区」による公衆
衛生への貢献と医療・健康・福祉産業の振興
~統合型医療情報データベース活用の展望~

座長:西村 訓弘(三重大学大学院医学系研究科)

演者:みえライフイノベーション総合特区の概要
増田 直樹(三重県健康福祉部ライフイノ
ベーション課)

統合型医療情報データベースは地域医療に
どう貢献するか

竹田 寛(三重大学医学部附属病院)

統合型医療情報データベースは臨床研究に
イノベーションを起こす?

西川 政勝(三重大学大学院医学系研究科
臨床創薬研究学)

県民参加型の総合特区による疫学予防・公
衆衛生への貢献

田島 和雄(三重大学医学部附属病院疫学
センター)

教育講演5・鼎談

13:00~14:50 第2会場

介護医療と公衆衛生

座長:近藤 克則(日本福祉大学社会福祉学部)

演者:「地域社会の変容と普遍性」~超高齢化社
会を支える仕組みとその手法~

東 憲太郎(介護老人保健施設いこいの森)

脳卒中、認知症の介護・医療と公衆衛生

富本 秀和(三重大学大学院神経病態内科
学・認知症医療学)

シンポジウム11

15:00~17:30 第2会場

難病対策の転換期における基盤整備の取り組み

~三重大学・国立保健医療科学院共同企画シンポジ
ウム~

座長:金谷 泰宏(国立保健医療科学院健康危機
管理研究部)

成田 有吾(三重大学医学部看護学科)

演者:我が国の難病対策の方向性

西嶋 康浩(厚生労働省健康局疾病対策課)
難病研究の推進体制の整備

武村 真治(国立保健医療科学院健康危機
管理研究部)

特定疾患医療従事者研修が目指す人材育成
の方向性

奥田 博子(国立保健医療科学院生涯健康
研究部)

難病登録の課題と国際的な動向

水島 洋(国立保健医療科学院)

難病研究における臨床調査と疫学の重要性

葛原 茂樹(鈴鹿医療科学大学保健衛生学
部医療福祉学科)

清水 隆裕(社会医療法人敬愛会 ちばな
クリニック 健康管理セン
ター)

共催:ノバルティスファーマ株式会社/ファイ
ザー株式会社

奨励賞受賞講演

13:00~14:20 第3会場

社会における健康リスクと関連要因に関する研究

座長:磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科
社会環境医学講座公衆衛生学)

演者:神田 秀幸(横浜市立大学医学部社会予防
医学教室)

地域住民に対する生活習慣介入プログラムによる循
環器疾患リスクの改善効果

座長:武見ゆかり(女子栄養大学栄養学部)

演者:春山 康夫(獨協医科大学医学部公衆衛生
学講座)

新型インフルエンザ等に対する公衆衛生対策

座長:堤 明純(北里大学医学部公衆衛生学単
位)

演者:和田 耕治(独立行政法人国立国際医療研
究センター国際医療協力局)

シンポジウム6

10:00~11:50 第3会場(三重県総合文化セン
ター レセプション
ルーム)

変革期における公衆衛生としての地域づくり:ソー
シャルキャピタルと保健師活動

座長:村嶋 幸代(大分県立看護科学大学)

村中 峯子(公益社団法人日本看護協会)

演者:ソーシャル・キャピタルの流れと地域づく
り

山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合
研究部社会医学講座)

保健師の地区活動とソーシャルキャピタル
の醸成

平野かよ子(東北大学大学院宮城地域医療
支援寄付講座)

地域づくり組織と進める地域保健活動

北森 祥子(三重県名張市子ども部兼健康
福祉部)

藤枝市における保健活動の取り組み~健
康・予防日本一をめざして~

松野 京子(静岡県藤枝市健康福祉部健康
推進課)

ランチョンセミナー4

12:00~12:50 第3会場

健診・保健指導における禁煙勧奨の意義

座長:大井田 隆(日本大学医学部社会医学系公
衆衛生学分野)

演者:健診等の保健事業の場を活用した禁煙支援
の推進を目指して

増居志津子(大阪がん循環器病予防セン
ター 予防推進部)

健診機関における禁煙支援の実際

教育講演6

14:30~15:20 第3会場

第二期の特定健診・特定保健指導の効果的な進め方

座長:岡山 明(公益財団法人結核予防会第一
健康相談所総合健診センター)

演者:今井 博久(国立保健医療科学院)

シンポジウム12

15:30~18:00 第3会場

地域で口腔保健活動をどのように進めるか—歯科口
腔保健法に基づくアプローチ

座長:尾崎 哲則(日本大学歯学部医療人間科学
分野)

演者:高齢期の地域住民の口腔機能の現状と今後
の課題

三浦 宏子(国立保健医療科学院地域医療
システム研究分野)

久山町コホート研究における口腔と全身の
健康の関連性解明へのアプローチ

山下 喜久(九州大学大学院歯学研究院口
腔保健推進学講座口腔予防医
学分野)

健康格差解消に向けた地域歯科保健の取組
~行政の立場から~

秋野 憲一（北海道空知総合振興局保健環境部保健行政室（北海道岩見沢保健所））
地域で口腔保健活動をどのように進めるか
小椋 正之（厚生労働省医政局歯科保健課・歯科口腔保健推進室）

シンポジウム7

10:00～11:50 第4会場（三重県総合文化センター 多目的ホール）

睡眠公衆衛生の実践 ～睡眠保健活動に向けて～

座長：大井田 隆（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

演者：睡眠と喫煙

尾崎 米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野）

運動と睡眠

北島 義典（埼玉県立大学保健医療福祉学部）

労働/休養と睡眠

井谷 修（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

飲酒と睡眠

兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

ランチョンセミナー5

12:00～12:50 第4会場

7価肺炎球菌結合型ワクチン導入の効果と残された課題，そして13価への期待

座長：押谷 仁（東北大学大学院医学系研究科微生物学分野）

演者：森 雅亮（横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター）

共催：ファイザー株式会社

シンポジウム8

13:00～15:30 第4会場

「健やか親子21」の最終評価と次期「健やか親子21」の策定

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

桑島 昭文（厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課）

演者：健やか親子21の経緯

山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

課題1 思春期の課題の最終評価

松浦 賢長（福岡県立大学看護学部学校保健領域）

課題2 妊娠出産期の課題の最終評価

玉腰 浩司（名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻）

課題3 小児保健医療の課題の最終評価

尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

課題4 子どもの心の発達と育児不安の課題の最終評価

山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

健やか親子21の最終評価及び次期プランについて

桑島 昭文（厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課）

シンポジウム13

15:30～18:00 第4会場

“日本の将来を託す子どもの発達保障と社会環境整備”

～発達環境の質的確保と子育て支援の実効策担保～

座長：烏帽子田彰（広島大学大学院医歯薬・保健学研究院公衆衛生学講座）

演者：子どもの発達保障と社会保障整備の実効策担保

烏帽子田彰（広島大学大学院医歯薬・保健学研究院公衆衛生学講座）

社会環境とこどもの健康：媒介要因は何か？

藤原 武男（国立成育医療研究センター研究所成育社会医学研究部/三重大学大学院医学系研究科成育社会医学分野）

バースコホートデータ等を背景とした我が国の生育環境の課題

加藤 承彦（広島大学大学院医歯薬・保健学研究院公衆衛生学講座）

子どもの貧困：政策の選択肢

阿部 彩（国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部）

社会生活環境要因と子どもの健康・成長；出生コホート（北海道スタディ）の成果と提言

岸 玲子（北海道大学・環境健康科学研究

究教育センター)

指定発言：保健事業からみえてくる親子の姿

藤井久美子（三重県津市健康福祉部健康づくり課）

健やか親子21の最終評価及び次期プランについて

桑島 昭文（厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課）

座長：毛利 一平（三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野）

畑下 博世（三重大学医学部看護学科地域・老年看護学）

演者：地域人材としてともに暮らし働くための社会基盤づくり

—群馬大学・群馬県「多文化共生推進市」養成ユニットの試み—

結城 恵（群馬大学大学教育・学生支援機構教育基盤センター）

外国人労働者を取り巻く社会的問題に関する考察

児玉 克哉（三重大学人文学部）

外国人の健康は誰が守る？新しいコミュニティが育つとき

沢田 貴志（神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所）

日本学術会議臨床医学委員会運動器分科会・日本公衆衛生学会合同シンポジウム

10:00～11:50 第5会場（三重県総合文化センター大研修室）

超高齢社会における運動器の重要性

座長：鈴木 隆雄（国立長寿医療研究センター研究所）

西脇 祐司（東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野）

演者：超高齢社会における変形性膝関節症予防の重要性：大規模住民コホートROAD Studyより

吉村 典子（東京大学医学部22世紀医療センター関節疾患総合研究講座）

骨粗鬆症の疫学

藤原佐枝子（広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター）

運動器と健康づくりのための身体活動基準2013・アクティブガイド

宮地 元彦（独立行政法人国立健康・栄養研究所）

体組成及び膝伸展筋力の加齢変化と変形性膝関節症との関連

渡辺 博史（JA新潟厚生連新潟医療センターリハビリテーション科）

ランチオンセミナー6

12:00～12:50 第5会場

不眠症の話

座長：兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

演者：内山 真（日本大学医学部精神医学系）

共催：エーザイ株式会社

シンポジウム14

15:00～17:30 第5会場

科学的根拠に基づいた公衆衛生政策の推進—精神保健版—

座長：藤田 享宣（日本電気株式会社健康管理センター）

櫻澤 博文（さくらざわ労働衛生コンサルタント）

演者：精神医療の暴走10年史を振り返る

佐藤 光展（読売新聞東京本社医療部）

エビデンスなき里のコウモリ：精神保健福祉政策の有効性を問う

齊尾 武郎（フジ虎ノ門健康増進センター/K & S 産業精神保健コンサルティング）

長時間労働とうつ状態の関係

天笠 崇（代々木病院精神科）

勤労者におけるストレスと生活習慣の関係

赤松 利恵（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

脳科学によるうつ病診断の試み

岡田 剛（広島大学大学院精神神経医学）

大学病院における「疫学センター」の役割と地域連携

神田 浩路（三重大学医学部附属病院疫学センター）

シンポジウム9

13:00～14:50 第5会場

多様な社会の健康をまもる—外国人との共生を支えるために、公衆衛生にできること—

〈第3日目 2013年10月25日(金)〉

特別講演4

9:00~9:50 第1会場(三重県総合文化センター
大ホール)

幸福のパラドックス

座長: 中原 俊隆(京都大学大学院医学研究科)

演者: 筒井 義郎(大阪大学大学院経済学研究科
経済学専攻)

シンポジウム15(モニタリング・レポート委員会企画)

10:00~11:50 第1会場

本学会における健康リスク情報の共有化を目指して

座長: 青柳 潔(長崎大学大学院医歯薬学総合
研究科公衆衛生学分野)

佐藤 眞一(千葉県衛生研究所)

演者: 第2期MR委員会としての検討の方向性

橋本 英樹(東京大学大学院公共健康医学
専攻)

タバコの影響—我々はどう取り組むか

矢野 栄二(帝京大学大学院公衆衛生学研
究科)

非正規雇用と健康のモニタリング・レポ
ート体制の確立

川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科
公共健康医学専攻精神保健学
分野)

米国疾病予防管理センター(US-CDC)
の健康危機管理活動

佐甲 隆(桜木記念病院)

健康危機管理モニタリング・レポートシ
ステム構築の理念と進捗状況報告

遠藤 弘良(東京女子医科大学国際環境・
熱帯医学講座)

シンポジウム19

13:00~15:30 第1会場

健康日本21(第2次)の新たな課題 ~健康格差の
縮小を目指して~

座長: 横山 徹爾(国立保健医療科学院生涯健康
研究部)

辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科
社会医学講座公衆衛生学分野)

演者: 健康日本21(第2次)と健康格差の縮小

河野 美穂(厚生労働省健康局がん対策・
健康増進課)

健康寿命と健康格差

橋本 修二(藤田保健衛生大学医学部衛生

学講座)

近隣諸科学との協働による栄養・食生活分
野の格差の実態把握と対策に向けて

村山 伸子(新潟県立大学人間生活学部健
康栄養学科)

循環器疾患分野の目標設定における三層構
造の考え方

岡村 智教(慶應義塾大学医学部衛生学公
衆衛生学)

歯・口腔の健康における格差の現状と縮小
に向けたアプローチ

三浦 宏子(国立保健医療科学院地域医療
システム研究分野)

メインシンポジウム3(市民公開)

15:30~17:50 第1会場

変革期の公衆衛生学とヘルスコミュニケーション

座長: 杉森 裕樹(大東文化大学大学院)

中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社
会健康医学系専攻健康情報学
分野)

演者: 認知症の人とのコミュニケーション

長谷川和夫(社会福祉法人浴風会認知症介
護研究・研修東京センター/
聖マリアンナ医科大学)

妊孕性リテラシースケール

(Cardiff Fertility Knowledge Scale)

杉森 裕樹(大東文化大学大学院)

日本社会における妊孕能の認識と今後の課
題

鴨下 桂子(東京慈恵会医科大学病院産婦
人科)

一般市民のヘルスリテラシーと公衆衛生学
的課題

須賀 万智(東京慈恵会医科大学医学部環
境保健医学講座)

ヘルスコミュニケーション: 国内外の動向

中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社
会健康医学系専攻健康情報学
分野)

放射線に関するヘルスコミュニケーション

小橋 元(放射線医学総合研究所)

教育講演7

9:00~9:50 第3会場(三重県総合文化センター
レセプションルーム)

病院を中心とする街づくりとソーシャルキャピタル

座長: 川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科

公共健康医学専攻精神保健学
分野)

演者：伊藤由希子（東京学芸大学人文社会科学系
社会科学講座経済学分野）

医療資源の乏しい中での保健師の役割

鳥居久美子（三重県南牟婁郡紀宝町役場健
康づくり推進課）

地域での保健行政～アフリカと日本で公衆
衛生が果たす役割

松井 三明（独立行政法人国立国際医療研
究センター国際医療協力局）

シンポジウム16

10:00～11:30 第3会場

日本の建築衛生

座長：多田羅浩三（日本建築衛生管理教育セン
ター）

演者：建築衛生の潮流

篠崎 英夫（日本公衆衛生協会）

建築物衛生行政をめぐる動向と制度に関す
る基本的視座

依田 泰（厚生労働省健康局生活衛生課）

公衆衛生思想と建築物衛生法

大井田 隆（日本大学医学部社会医学系公
衆衛生学分野）

環境・技術の動向と建築衛生

大澤 元毅（国立保健医療科学院）

教育講演 8

9:00～9:50 第4会場（三重県総合文化センター
多目的ホール）

PM2.5による大気汚染の現状と健康影響

座長：山口 直人（東京女子医科大学医学部）

演者：新田 裕史（国立環境研究所環境健康研究
センター）

シンポジウム17

10:00～11:50 第4会場

地域職域連携は中小企業で働く人々の健康を守れた
のか

座長：柴田 英治（愛知医科大学医学部衛生学講
座）

圓藤 吟史（大阪市立大学大学院医学研究
科）

演者：中小企業における職場の健康リスクを意識
した保健師活動

青山 京子（青山労働衛生コンサルタント
事務所）

紀南地域における地域産業保健協議会の設
置経験と展望

二村 昭（一般社団法人紀南医師会）

福岡県地域産業保健センター活動の現状と
今後の展望～地域職域連携の必要性を考え
る～

柿森 里美（福岡県地域産業保健センター）

働く人々の健康を守るために地域保健と職
域～産業保健が連携できる実務について

松田 元（まつだクリニック）

ランチョンセミナー7

12:00～12:50 第3会場

低周波電磁界の健康リスク評価—WHOの国際電磁
界プロジェクトを中心に—

座長：伊藤 勇（一般財団法人電気安全環境研
究所電磁界情報センター）

演者：大久保千代次（一般財団法人電気安全環境
研究所電磁界情報センター）

共催：一般財団法人 電気安全環境研究所

シンポジウム20

13:00～15:30 第3会場

地域から世界へ，世界から地域へ！ —地域医療と
国際保健の協働—

座長：足立 基（三重県立総合医療センター）

駒田 美弘（三重大学大学院医学系研究科
臨床医学系講座小児科学分野）

演者：世界に広がり，世界から学ぶ，母子手帳

中村 安秀（大阪大学大学院人間科学研究
科国際協力学）

三重県下全市町で展開する地域基盤型保健
医療教育

堀 浩樹（三重大学大学院医学系研究科
医学医療教育学分野）

保健分野での住民参加：アフリカでの経験
からインセンティブを考える

松林 信幸（三重県立志摩病院小児科）

ランチョンセミナー8

12:00～12:50 第4会場

高齢者に対する肺炎予防～地域における23価肺炎球
菌ワクチンの有効性について～

座長：渡辺 彰（東北大学加齢医学研究所抗感
染症薬開発研究部門）

演者：今立 俊輔（国立病院機構長崎医療セン
ター総合診療科）

共催：MSD 株式会社

シンポジウム21

13:00~15:30 第4会場

法医学と公衆衛生の接点

座長：那谷 雅之（三重大学大学院医学系研究科
法医法科学分野）

演者：日本の死因究明制度～現状と将来展望～

福永 龍繁（東京都監察医務院）

東京都区部の孤独死統計調査：監察医による死因統計の方法と意義

金涌 佳雅（防衛医科大学校法医学講座）

有効な自殺対策に向けて—法医学，公衆衛生学，精神医学等の連携—

井上 頤（島根大学医学部公衆衛生学）

無煙タバコに対する学術会議提言を受けてのたばこ対策専門委員会主催緊急シンポジウム9:00~9:50 第5会場（三重県総合文化センター
大研修室）座長：尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学
分野，日本公衆衛生学会たばこ対策専門委員会委員長）

演者：子どもの受動喫煙

加治 正行（静岡市保健所）

口から見えるタバコ問題

尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学
分野）

タバコ対策の転換：個人の生活習慣改善から公衆衛生活動へ

矢野 栄二（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

指定発言：埴岡 隆（福岡歯科大学口腔保健学
講座）**シンポジウム18**

10:00~11:50 第5会場

イノベーション・オブ・パブリックヘルス～経営学からのアプローチ～

座長：北川信一郎（京都市上京保健センター）

演者：環境経営の3つの要素

國部 克彦（神戸大学大学院経営学研究科）

保健師の経験学習プロセス

松尾 睦（北海道大学大学院経済学研究科）

働きやすい病院は経営サステイナブルか

瀧野 敏子（特定非営利活動法人イージェ
イネット/医療法人社団ラ・
クォール会）市民の信頼回復から始まった公立病院イノ
ベーション

山中 光茂（松阪市長）

シンポジウム22

13:00~15:30 第5会場

わが国の脳性麻痺に関する疫学的検討

座長：小林 廉毅（東京大学大学院医学系研究科
公衆衛生学分野）池田 智明（三重大学大学院医学系研究科
産科婦人科学分野）

演者：沖縄県における脳性麻痺児の疫学的調査

當山 潤（沖縄小児発達センター小児神
経科）

脳性麻痺における双胎出生

二井 英二（三重県草の実りハビリテーシ
ョンセンター整形外科）三重県における脳性麻痺児に関する検討—
産科の立場から—

神元 有紀（三重大学医学部産婦人科）

三重県における脳性麻痺：NICUの視点か
ら盆野 元紀（国立病院機構三重中央医療セ
ンター臨床研究部/総合周産
期母子医療センター新生児科）

わが国の脳性麻痺児の現況と課題

岡 明（東京大学医学部附属病院小児
科）

7 一般演題

一般演題数 合計1,577件

分科会	分科会名	演題数 (口演)	演題数 (示説)	合計
第1分科会	疫学・保健医療情報	10	62	72
第2分科会	ヘルスプロモーション	9	84	93
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	20	154	174
第4分科会	保健行動・健康教育	7	63	70
第5分科会	親子保健・学校保健	15	149	164
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	15	147	162
第7分科会	高齢者の医療と福祉	6	71	77
第8分科会	地域社会と健康	8	104	112
第9分科会	難病・障害の医療と福祉	—	23	23
第10分科会	精神保健福祉	9	64	73
第11分科会	口腔保健	—	33	33
第12分科会	感染症	9	72	81
第13分科会	健康危機管理	10	66	76
第14分科会	医療制度・医療政策	12	31	43
第15分科会	公衆衛生従事者育成	3	74	77
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	5	47	52
第17分科会	公衆栄養	6	43	49
第18分科会	健康運動指導	4	21	25
第19分科会	食品衛生・薬事衛生	3	12	15
第20分科会	産業保健	5	44	49
第21分科会	環境保健	2	28	30
第22分科会	国際保健	4	23	27
合 計		162	1,415	1,577

*第9, 11分科会の発表はすべて示説

8 各プログラム参加人数（概数）

第1日目 2013年10月23日（水）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場	開会式		600名
	学会長講演	変革期我が国の公衆衛生学の現状と課題—隣接諸科学との対話	750名
	基調講演	健康の社会的決定要因：政策への応用	1,050名
	総会		100名
	教育講演1	医療ビッグデータ時代のプライバシー・個人情報保護法制のあり方	250名
	メインシンポジウム1	災害時や危機管理におけるビッグデータの形成とその活用	250名
	特別講演2・鼎談	行政情報のプールとデータリンケージ	55名
第2会場	特別講演1	多能性幹細胞・間葉系細胞技術の開発と将来—公衆衛生領域における再生医療との関わりについて考える	49名
	シンポジウム1	保健所の過去・現在・未来	180名
	日本学術会議パブリックヘルス分科会・生活習慣病対策分科会・健康・スポーツ科学分科会・日本公衆衛生学会合同シンポジウム	特定健診・特定保健指導の新たな局面とその推進	211名
第3会場	教育講演2	よりそいホットラインに寄せられた声が訴えるもの—24年度1千万件のアクセスの分析から—	130名
	シンポジウム2	社会的困窮者への公衆衛生からのアプローチ—現状と課題—	210名
	シンポジウム4	放射線と健康教育・地域づくり～今あらためて見直される公衆衛生の課題～	80名
第4会場	教育講演3	幼児期運動指針と幼児の運動発達	137名
	シンポジウム3	子どもの運動発達と親子支援	129名
第5会場	教育講演4	結核対策の将来展望	210名
	地方衛生研究所研修フォーラム	結核菌分子疫学の推進と結核対策への活用	55名

第2日目 2013年10月24日（木）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場	招待講演	日本の医療と公衆衛生の役割	840名
	メインシンポジウム2	医師の臨床研修制度	120名
	特別講演3・鼎談	長寿時代の医療と公衆衛生	184名
	シンポジウム10	原子力災害における公衆衛生の取り組み	160名
第2会場	シンポジウム5	「みえライフイノベーション総合特区」による公衆衛生への貢献と医療・健康・福祉産業の振興～統合型医療情報データベース活用の展望～	67名
	教育講演5・鼎談	介護医療と公衆衛生	171名
	シンポジウム11	難病対策の転換期における基盤整備の取り組み～三重大学・国立保健医療科学院共同企画シンポジウム～	89名

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第3会場	シンポジウム6	変革期における公衆衛生としての地域づくり：ソーシャルキャピタルと保健師活動	300名
	奨励賞受賞講演		140名
	教育講演6	第二期の特定健診・特定保健指導の効果的な進め方	240名
第4会場	シンポジウム12	地域で口腔保健活動をどのように進めるか—歯科口腔保健法に基づくアプローチ	110名
	シンポジウム7	睡眠公衆衛生の実践～睡眠保健活動に向けて～	176名
	シンポジウム8	「健やか親子21」の最終評価と次期「健やか親子21」の策定	190名
第5会場	シンポジウム13	“日本の将来を託す子どもの発達保障と社会環境整備”～発達環境の質的確保と子育て支援の実効策担保～	165名
	日本学術会議臨床医学委員会運動器分科会・日本公衆衛生学会合同シンポジウム	超高齢社会における運動器の重要性	180名
	シンポジウム9	多様な社会の健康をまもる—外国人との共生を支えるために、公衆衛生にできること—	60名
	シンポジウム14	科学的根拠に基づいた公衆衛生政策の推進—精神保健版—	220名

第3日目 2013年10月25日（金）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場	特別講演4	幸福のパラドックス	225名
	シンポジウム15（モニタリング・レポート委員会企画）	本学会における健康リスク情報の共有化を目指して	140名
	シンポジウム19	健康日本21（第2次）の新たな課題～健康格差の縮小を目指して～	320名
	メインシンポジウム3（市民公開）	変革期の公衆衛生学とヘルスコミュニケーション	135名
第3会場	教育講演7	病院を中心とする街づくりとソーシャルキャピタル	70名
	シンポジウム16	日本の建築衛生	63名
	シンポジウム20	地域から世界へ、世界から地域へ！—地域医療と国際保健の協働—	75名
第4会場	教育講演8	PM2.5による大気汚染の現状と健康影響	178名
	シンポジウム17	地域職域連携は中小企業で働く人々の健康を守れたのか	246名
	シンポジウム21	法医学と公衆衛生の接点	56名
第5会場	無煙タバコに対する学術会議提言を受けてのたばこ対策専門委員会主催緊急シンポジウム		84名
	シンポジウム18	イノベーション・オブ・パブリックヘルス～経営学からのアプローチ～	92名
	シンポジウム22	わが国の脳性麻痺に関する疫学的検討	33名

9 自由集会

10月23日（水）

番号	集 会 名	人数	会 場	参加者数
1	知ろう・語ろう・考えよう！ “一歩先行く” 健やか親子21 第13回～母子保健現場における発達支援の取組みと健やか親子21 次期計画～	40	三重県総合文化センター 文化会館 2F 大会議室	40名
2	共感・共生のパワーを活用するコミュニティ・エンパワメント	50	三重県総合文化センター 文化会館 2F 中会議室	30名
3	地域医療連携・地域医療再生を考える自由集会	50	三重県総合文化センター 文化会館 B1F 第1リハーサル室	25名
4	第2回“笑い”を活用した健康づくりに関する情報交換 & 笑いのエクササイズ体験	50	三重県総合文化センター 文化会館 B1F 第2リハーサル室	20名
5	全国衛生行政研究会セミナー	40	三重県総合文化センター 生涯学習センター 2F 小研修室	30名
6	災害時の住民の健康を守るための職種を越えた食支援のための連携	40	三重県総合文化センター 生涯学習センター 4F 小研修室	16名
7	「健康づくりと運動」自由集会	50	三重県総合文化センター 生涯学習センター 4F 中研修室	40名
8	第16回レセプト情報の活用を考える自由集会	50	三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2F セミナー室 A	40名
9	前向き子育てプログラム—その理論と実践	30	三重県総合文化センター 男女共同参画センター 2F セミナー室 B	15名
10	結核の集団発生対策に関する自由集会	100	三重県総合文化センター 男女共同参画センター 3F セミナー室 C	92名
11	被災地で展開する楽しい介護 予防運動教室の実際	20-30	三重県総合文化センター 男女共同参画センター 3F フィットネスルーム	8名
12	第6回法医公衆衛生学研究会	30	アスト津 4F 会議室 1	14名
13	あらたな難病施策 知ろう。難病保健活動に求められていること つくろう。難病保健活動の指針	20-30	アスト津 4F 会議室 2	28名
15	感染症情報の現状と展望を考える会	50	アスト津 4F 研修室 A	30名
16	公衆衛生と危機管理 第10回大規模自然災害におけるイニシャルアセスメント、インシデントコマンドシステム、ISO等による標準化の有用性	20	アスト津 5F 研修室 C	16名
17	南相馬市における発災後から3年目までの保健活動	50	三重県医師会館 1F 健康教育室	30名
18	全国いきいき公衆衛生の会	150	三重県医師会館 2F 大ホール	50名
19	参加型労働者教育（POAT）の環境教育への応用	30	三重県医師会館 2F 地域医療委員会室	未回収
20	乳幼児虐待予防に向けたホームスタート（HS）と保健師との協働・連携その2—保健師からHSへ、そしてHSから保健師へと繋いだ困難事例の検討から—	30	三重県医師会館 2F 中会議室	10名
21	住まいと健康フォーラム—在宅医療・介護を見据えた住まいとは—	20	三重県医師会館 4F 会議室	14名

番号	集 会 名	人数	会 場	参加者数
22	高齢者が安心して暮らせるコミュニティとは	50	三重県医師会館 4F 代議員会室	18名
23	活動の必要性と成果を見せる 公衆衛生看護技術を学ぼう	50	三重県歯科医師会館 大会議室	9名
24	健康生成論とストレス対処力 SOC に関する学習・研究交流集会 (第7回)	30-40	三重県歯科医師会館 教育センター	25名
25	第6回公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会	30	三重県歯科医師会館 情報センター	16名
26	国民健康保険における特定健診・特定保健指導の分析結果と今後の取り組みにむけた情報交換会—三重県の市町国保の実例から—	70-100	三重県総合文化センター 生涯学習センター 2F 視聴覚室	50名
27	食事質問調査票の活用を考える (BDHQ ユーザクラブ)	40	三重大学 環境・情報 科学館 1F ホール	24名
28	知ろう・学ぼう 都道府県がん対策推進計画とがん統計	30	三重大学 環境・情報 科学館 3F 演習室 1	21名
29	男性保健師の会	30	三重大学 環境・情報 科学館 3F 演習室 3・4	25名
30	第一回 職業感染予防ネットワークの集い	50	三重大学 環境・情報 科学館 3F 演習室 5・6	18名
31	日本公衆衛生看護研究会：新たな「保健師活動指針」を手がかりとして保健師を語ろう	50	三重大学 新医学棟 (看護学科校舎) 3F 第一講義室	35名
32	Wifi カフェ (感覚的な発見と交流からの地域保健福祉活動)	30	三重大学 新医学棟 (看護学科校舎) 3F 第二講義室	5名
33	第2回孤立予防：住民が住民を支えるしくみの波及方法を探る—行政保健師と協働する大学の役割—	50	三重大学 新医学棟 (看護学科校舎) 3F 第三講義室	15名
34	公衆衛生に国境はない	30	三重大学 新医学棟 (看護学科校舎) 3F グループ学習室	20名
35	若手公衆衛生医師と公衆衛生医師を目指す臨床医・医学生が集い	30	三重大学 新医学棟 (看護学科校舎) 4F 会議室	17名

10月24日（木）

番号	集 会 名	人数	会 場	参加者数
36	第22回多胎児を産み育てる家庭への保健サービスを考える集会	50	アスト津 4F 会議室 1	15名
37	保健医療データ分析のための Amos & SPSS の活用講座	30	アスト津 4F 会議室 2	51名
38	第 6 回 HIA 研究会	20	アスト津 4F 会議室 3	15名
39	保健師のアセスメントを可視化する視聴覚教材	30	アスト津 4F 研修室 A	15名
40	住民，行政が協働した子育て支援の取り組みを通して住民参画型地域づくりを考える。	20	アスト津 5F 研修室 C	13名
41	第 5 回若葉保健師からのメッセージ～語る保健師には縁来る～	30	三重県教育文化会館 5F 中会議室	13名
42	保健師魂と公衆衛生活動	50	三重県教育文化会館 2F 第 2 会議室	15名
43	精神に障害を持つ親と暮らす子どもへの支援—地域で何ができるか？—	50	三重県医師会館 1F 健康教育室	10名
44	低線量被曝と健康被害を考える集い	100	三重県医師会館 2F 大ホール	60名
45	喫煙対策	40	三重県医師会館 2F 中会議室	30名
46	介護保険の有効な運営方法を考える	20	三重県医師会館 4F 会議室	未回収
47	地域歯科保健の展開を考える～行政に勤務する歯科衛生士の活動を通して～	40	三重県歯科医師会館 教育センター	57名
48	“地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用—	50	アスト津 4F 研修室 A	70名

10 ブース

展示

〈紹介ブース（一般展示）〉

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1 一般社団法人 全国保健師教育機関協議会 | 13 東京医療保健大学 |
| 2 国立学校法人東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 | 14 NPO 法人 みんなのクラブネット三重 |
| 3 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター | 15 有効性評価に基づくがん検診ガイドライン |
| 4 一般財団法人 電気安全環境研究所 | 16 特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター |
| 5 NPO 法人子宮頸がんを考える市民の会 | 17 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 |
| 6 公益財団法人結核予防会 結核研究所 | 18 特定非営利活動法人 ウェルビーイング |
| 7 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 | 19 公益社団法人 地域医療振興協会 |
| 8 山梨大学 社会医学講座 | 20 認定 NPO 法人 ストップ結核パートナーシップ日本 |
| 9 ながさき地域医療人材支援センター | 21 前向き子育てプログラム |
| 10 特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会 | 22 帝京大学公衆衛生学研究科（専門職大学院） |
| 11 和歌山県立医科大学 | 23 NPO 法人 日本介助犬アカデミー |
| 12 国立保健医療科学院 | |

〈紹介ブース（企画展示）〉

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 公益財団法人健康・体力づくり事業財団 | 5 一般社団法人 元気クラブいなべ |
| 2 道立根室・中標津保健所 | 6 歯っぴい8020応援隊 |
| 3 岡山市保健所 | 7 日本むし歯予防フッ素推進会議 |
| 4 三重県健康福祉部 ライフイノベーション課 | |

〈機器展示〉

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 株式会社メルシー | 13 一般社団法人 日本ワクチン産業協会 |
| 2 株式会社ヤマト | 14 イルミナ株式会社 |
| 3 株式会社VIP グローバル | 15 株式会社両備システムズ |
| 4 日本ビーシージー製造株式会社 | 16 キッセイコムテック株式会社 |
| 5 株式会社健康日本総合研究所 | 17 株式会社アシスト・アイ |
| 6 株式会社いわさき | 18 東洋羽毛東海販売株式会社 |
| 7 公益財団法人結核予防会 第一健康相談所 | 19 株式会社ヘルスケアシステムズ |
| 8 一般社団法人 日本家族計画協会 | 20 国立大学法人 三重大学 |
| 9 オックスフォード・イムノテック株式会社 | 21 ESRI ジャパン株式会社 |
| 10 雪印メグミルク株式会社 | 22 日本メディカルファンド株式会社 |
| 11 パナソニックヘルスケア株式会社 | 23 一般社団法人 日本睡眠総合検診協会 |
| 12 オムロンヘルスケア株式会社 | 24 株式会社明治 |

〈書籍展示〉

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 一般財団法人厚生労働統計協会 | 4 株式会社紀伊國屋書店 |
| 2 株式会社東京法規出版 | 5 株式会社ニホン・ミック |
| 3 有限会社ワニコ書店 | 6 株式会社クマノミ出版 |

11 付随行事

行 事 名	日 程		会 場
	月 日	時 間	
【関連行事】			
日本公衆衛生学会理事会	10月22日(火)	10:00~12:00	三重県総合文化センター 大会議室
日本公衆衛生学会評議員会	10月22日(火)	13:00~14:30	三重県総合文化センター 大研修室
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	10月23日(水)	12:20~13:20	三重県総合文化センター セミナー室 A
平成25年度 感染症疫学分析のための研修会	10月25日(金)	13:00~17:00	三重県総合文化センター 大会議室
自由集会	10月23日(水)	18:00~20:00	三重県総合文化センター, アスト津, 三重県教育文化会館, 三重県医師会館, 三重県歯科医師会館, 三重大学
	10月24日(木)	16:00~20:15	
【付随行事】			
衛生学公衆衛生学教育協議会総会	10月22日(火)	15:00~18:00	三重県総合文化センター 大研修室
全国衛生部長会議			
役員会	10月22日(火)	11:00~12:00	ホテルグリーンパーク津 菖蒲の間
総会	10月22日(火)	13:00~17:00	ホテルグリーンパーク津 葵・橘・藤・萩の間
情報交換会	10月22日(火)	18:00~	ホテルグリーンパーク津 葵・橘・藤・萩の間
平成25年度政令市保健所長会 連絡協議会・全国保健所長会 政令市部会総会	10月21日(月)	10:00~12:00	プラトンホテル四日市 ダイアモンドホール
平成25年度全国政令市衛生部局長会			
総会	10月21日(月)	14:00~16:20	プラトンホテル四日市 ダイアモンドホール
会長表彰式	10月21日(月)	16:30~17:00	プラトンホテル四日市 エメラルドホール
情報交換会	10月21日(月)	18:30~	プラトンホテル四日市 ヴェネチアホール
全国保健所長会			
第70回総会	10月22日(火)	10:00~12:30	ホテルグリーンパーク津 伊勢・安濃の間
研究事業報告	10月22日(火)	13:30~14:20	ホテルグリーンパーク津 伊勢・安濃の間
会員協議	10月22日(火)	14:30~17:00	ホテルグリーンパーク津 伊勢・安濃の間
意見交換会	10月22日(火)	17:40~	ホテルグリーンパーク津 伊勢・安濃の間
地方衛生研究所全国協議会			
第64回総会	10月22日(火)	13:30~17:00	三重県教育文化会館 多目的ホール
情報交換会	10月22日(火)	18:00~	ホテルグリーンパーク津 伊勢・安濃の間
全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会			
理事会	10月22日(火)	11:00~12:00	三重県教育文化会館 第5会議室
センター長会議	10月22日(火)	13:00~14:45	三重県教育文化会館 大会議室
研究協議会	10月22日(火)	14:55~17:00	三重県教育文化会館 大会議室
意見交換会	10月22日(火)	17:30~19:00	陶陶津店
研究協議会	10月23日(水)	8:50~16:10	三重県教育文化会館 大会議室
全国保健統計協議会			
役員会	10月22日(火)	13:00~13:30	アスト津 会議室3
総会	10月22日(火)	13:50~14:20	アスト津 会議室1
講演会・事例発表	10月22日(火)	14:30~16:00	アスト津 研修室A
全国保健師教育機関協議会			
理事会	10月22日(火)	10:00~12:00	津都ホテル 伊勢の間東
秋季研修会	10月22日(火)	14:00~17:40	津センターパレスホール
懇親会	10月22日(火)	18:00~20:00	津都ホテル5階 伊勢の間

12 第72回日本公衆衛生学会総会収支決算

〈収入〉

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 負担金収入	12,400,500	
都道府県等分担金	4,900,500	47都道府県, 20政令指定都市 (定額)
公衆衛生学会負担金	3,000,000	日本公衆衛生学会
開催地負担金	4,500,000	三重県: 300万円, 津市: 150万円
2 抄録集売上収入	27,967,000	
事前予約販売	17,122,500	2,283件 (@7,500円)
当日販売	9,976,000	1,247件 (@8,000円)
通信販売	126,000	15件 (@8,000円) 送料6件 (@1,000円)
送料	742,500	1,485件 (@500円)
3 演題申込金収入	4,809,000	1,603件 (@3,000円)
4 諸収入	21,903,362	
寄付金・助成金収入	3,425,000	39件
広告料収入	714,000	1件 (@210,000円), 1件 (@157,500円), 2件 (@105,000円), 2件 (@52,500円), 2件 (@15,750円)
機器展示	5,880,000	28小間 (@210,000円)
一般展示	708,750	27小間 (@26,250円)
書籍展示	273,000	26小間 (@10,500円)
ランチョン共催金収入	9,660,000	3件 (@1,365,000円), 3件 (@1,155,000円), 2件 (@1,050,000円)
意見交換会・学会長懇談会収入	1,238,000	学会長懇談会 32名 (@8,000円), 意見交換会 事前104名 (@5,000円) 当日77名 (@6,000円)
雑収入	4,612	利息他
合 計	67,079,862	

〈支出〉

(単位：円)

科 目	決算額	内 訳
1 事前準備費	14,284,318	
事務局費	1,596,900	事務局人件費, 連絡調整費
会議費・主催者交通費等	131,927	実行委員会, 打合せ会議
前回総会視察・プロモーション経費	220,315	山口総会視察
ホームページ作成費	332,000	Web作成・更新, サーバー使用料
演題登録・参加登録関連費	1,397,000	システム構築・利用費
通信運搬費	1,264,724	発送代
印刷・制作費	9,202,792	封筒, 抄録集, 参加証
その他雑費	138,660	消耗品, 郵便振替加入者負担金, 振込手数料
2 当日運営費	34,679,628	
会場関連費	5,573,323	会場使用料, 付帯設備料
当日運営人件費	7,390,626	ディレクター・スタッフ人件費
音響・映像関連機材	6,401,000	プロジェクター, PC
看板・展示・備品関連費	8,447,500	看板, 展示小間, ポスターパネル
シャトルバス	3,700,000	
託児所手配	320,000	一部利用者負担
運営交通・宿泊・昼食費	1,661,890	ディレクター, スタッフ, 主催者, 控室料飲
会議用備品	1,185,289	記念品, 文具, コピー, 運営用携帯電話
3 招請費	3,568,255	謝金, 宿泊費
4 意見交換会・学会長懇談会費用	1,474,390	学会長懇談会 料飲費255,500円, 意見交換会 料飲費935,000円
5 事後処理費	1,686,858	記録集, 引き継ぎ資料
6 運営業者委託管理費	7,041,750	
7 日本公衆衛生学会返還金	4,344,663	
合 計	67,079,862	